



東校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azuma/>

夏休み号

令和5年7月20日
横浜市立東小学校
校長 保科 桂子



よい習慣を大切に 有意義な夏休みを



児童支援専任 内藤 峻至

毎日のように30度を超える日が続くようになりました。昇降口前で1・2年生が育てている植物は、太陽の力を借りてぐんぐん育っています。1年生の朝顔は青・紫・ピンクと色とりどりの花を咲かせ、2年生が育てている野菜たちは立派な実をつけています。

7月10日に、老松中学校で横浜子ども会議が行われました。参加したのは、老松中学校ブロックの児童・生徒で、東小学校からは代表の6年生児童が参加しました。会議では、「いじめをなくすために、一人ひとりができること」をテーマに話し合いの中で、いじめをなくすためには、生活習慣を整えて気持ちのよい生活を送ることで、意地悪な考えが生まれないようにすることが大切ではないかという意見が出ていました。東小学校では今年度も、「スーピタ（靴を揃えてしまうこと）週間」や「あいさつ運動」など、日頃からできる取り組みを見直す機会を作りました。習慣として続けて一人ひとりが気持ちのよい学校生活を送れるよう、引き続き声をかけていきます。

明日からはいよいよ夏休みです。この時期、私が子どもの時には、早朝から昆虫を捕まえるに行くことや、地域のお祭りに参加することなど、これから始まる日常にはない経験を想像して胸を躍らせていたことを思い出します。東小の子どもたちにも、普段の学校生活にはない体験から新しい発見ができる機会を大切にしてもらいたいです。

また、これまでの学校での学びや生活も継続させて、目標を立てて過ごしてほしいです。学習面では、学んだことの復習や、読書感想文を書いたり図工の作品作りをしたりすることなどができます。生活面では、「早寝、早起き」「手洗い、うがい」「あいさつ」などいつも行っていることを継続してほしいです。計画的に学習することや規則正しい生活を送ることは、夏休み明けのスムーズな登校再開や、気持ちのよい学校生活につながるとおもいます。

休みの間もよい生活習慣を継続させて、夏休み明け元気に登校してください。保護者の皆様、地域の皆様、38日間の夏休みの間、子どもたちへの指導や見守りをよろしく願います。そして、8月28日に子どもたちに会えることを楽しみにしています。

